喜納、城間が2冠達成

NHK杯中学卓球

卓球の第30回NHK杯中学生大会は最終日の26日、県総合運動公園体育館でシングルスの決勝まで行い、男子は喜納漢裕（沖縄東）が3―0で森朗倖（同）との同校対決を制し初優勝、女子は城間春香（金武卓球道場）が3―1で泉川文香（宜野湾）を退け、初の頂点に立った。男女ともダブルスと合わせて2冠を達成した。

【男子】

▽シングルス準々決勝

喜納　漢裕（沖縄東）3―0 長堂　尚昌（普天間）

大城　秀太（金武道場）3―1 玉城　翔平（真志喜）

上原　誠也（宜野湾）3―2 前原　由海（沖縄東）

森　朗倖（沖縄東）3―2 川上　大和（沖縄東）

▽同準決勝

喜納　3―1 大城

森　3―0 上原

▽同決勝

喜納　3（11―8、11―7、11―4、0）森

【女子】

▽シングルス準々決勝

城間　春香（金武道場）3―0 岡田優里奈（ぎのわんTTC）

中村　陽菜（浦添）3―2 伊野波桃香（真志喜）

大城　晏菜（金武道場）3―1 盛岡　夏美（与那原）

泉川　文香（宜野湾）3―0 仲宗根寿々花（真志喜）

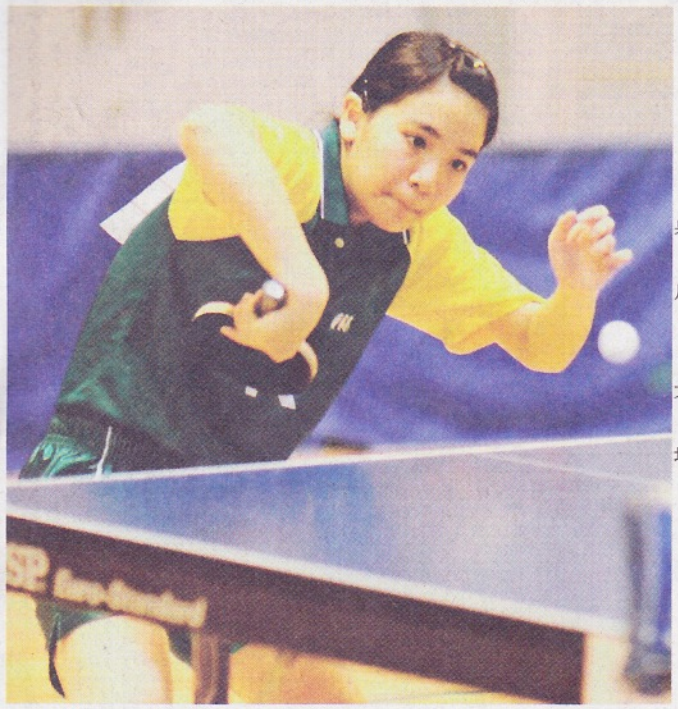
▽同準決勝

城間　3―1 中村

泉川　3―0 大城

▽同決勝

城間　3（13―11、11―9、7―11、12―10）1　泉川



女子シングルス決勝　ボールを打ち返す城間春香（金武卓球道場）＝26日、県総合運動公園体育館

サーブがさえペア対決制す

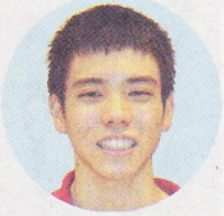
県外見据える喜納

○…男子決勝は前日のダブルスで優勝したペア同士の対決となった。喜納漢裕（沖縄東）がストレートで森朗倖（同）を破って2冠を手にし、「サーブが良かった」と勝因を挙げた。

得意とするサーブで、回転の違ういくつかの種類を打ち、相手のミスを誘った。コースも工夫し、「たまに長いサーブを打った。そのおかげで短いサーブが決まった」と振り返った。

「課題もいっぱい見つかった」という。準決勝ぐらいからスタミナとともに集中力が切れかけたといい、体力面の課題を挙げた。

「沖縄だけでなく九州、全国で勝てる力を付けたい」と話した。



喜納　漢裕

集中し確実に

城間

○…女子シングルスを制した城間春香（金武卓球道場）は、ミスをしないことを心掛け、確実に打ち返すことに集中。「初めて2冠を取れて良かった」と喜んだ。

前日のダブルスでミスから苦しい展開になったことが頭にあり、「ミスしたくないという気持ちが強かった」という。しっかりボールを返すことを意識した一方で、「守りに入り、消極的になってしまった」との反省も口にした。

「もっと攻めていけば、もう少しいい試合ができる。自分から勝負をかけていくプレーをしたい」と話し、7月の中体連に向け、気を引き締めた。